

聞いてみました

## はくラボのミュージアムグッズ愛好家-01

森 裕美子さん  
理科ハウス館長

2019年5月16日  
リニューアルオープン!

理科ハウス - 世界一小さな科学館 -  
神奈川県逗子市池子2-4-8  
www.licahouse.com

大阪自然史センターの虫へんTシャツ、鳥へんTシャツをはじめて仕入れたのは、2008年4月、理科ハウス開館の一ヵ月前のことです。「このオリジナル商品は人気があるよ」と教えてくれたのは大阪市立科学館の渡部義弥さんでした。

理科ハウスは助成金をもらわないので運営する私設の科学館なので、ショップの利益が頼りです。Tシャツはコンスタントに売れていてとても助かります。Tシャツ以外にも新商品が出ると「これはきっと売れる!」と思って仕入れをしていますが、やはり人気があるのは漢字がいっぱいデザインされたこの二種のTシャツです。外国に行くという人が、「外国の人は漢字が好きだからプレゼントに持っていくの」とか、児童館で仕事をしている人が「このシャツを着ていると子どもが寄ってくるのか嬉しそうに話して貰ってくれました。

ミュージアムグッズを通して人がつながっていくのを見るのは楽しいです。科学が身近なものになるには、科学で使われる言葉や記号がいつも目に触れる場所にあることが近道だと思うので、ミュージアムグッズにはその役割が大きいと信じています。



細々と商品の卸を開始した頃に  
卸先第一号になってくださった理科ハウスさん。  
元素周期表Tシャツは私も愛用しています!  
(スタッフK)

理科ハウスオリジナルグッズ  
元素周期表Tシャツ(黒・Nh)

## Q&A

自然史博物館のミュージアムショップ  
誰がやっているの?



頭骨スタンプ  
ヒグマ(864円)

通常ミュージアムショップは、館の直営、関連団体による運営、外部委託などの運営形態をとります。更に委託の場合にも入札やプロポーザルなどの審査を経て決まります。ミュージアムショップが世の中であり知られていない頃から、自然史博物館の一角でスタートした大阪自然史センターのミュージアムショップは、当時は博物館の依頼と許可をもらって運営していましたが、現在は入札で営業権を得て、賃料を支払って営業をおこなっています。

ミュージアムグッズは帰宅後も来館者の関心を定着させる大事な役割を担う存在です。私たちが運営するミュージアムショップは、独自の品揃えと高いサービスや品質で、お客様と博物館の双方から評価をいただいている。

当冊子掲載のオリジナルグッズヒストリーの冒頭約10年間は、大阪自然史センターの前身団体である大阪市立自然史博物館友の会が企画・制作したミュージアムグッズです。当時の友の会会員と博物館が、強い結びつきの中でアイデアを出し合い、それぞれの商品を世に送り出してきたことが、会報誌のバックナンバーの記事からもうかがうことができました。

自然史博物館と友の会が培ってきた市民協働の姿は、大阪自然史センターが運営するミュージアムショップや企画・制作されるグッズの一つ一つにも息づいています。さまざまなコラボレーションで博物館を楽しく自然を学べる場にしたい。私たち「はくラボ(大阪自然史センター)」が展開するミュージアムショップは、独自性を大切にしながらも、学ぶ楽しさを多様な方法でアプローチし続ける、そのような場でありたいと願っています。

## Shop Information

大阪市立自然史博物館ミュージアムショップ  
(花と緑と自然の情報センター1階)

営業時間：9:30～17:00 (11月～2月は16:30まで)

定休日：月曜日 (休日の場合はその翌日)、年末年始

ネットショップ：[omnh-shop.ocnk.net](http://omnh-shop.ocnk.net)

facebook : [www.facebook.com/omnhsop](https://www.facebook.com/omnhsop)

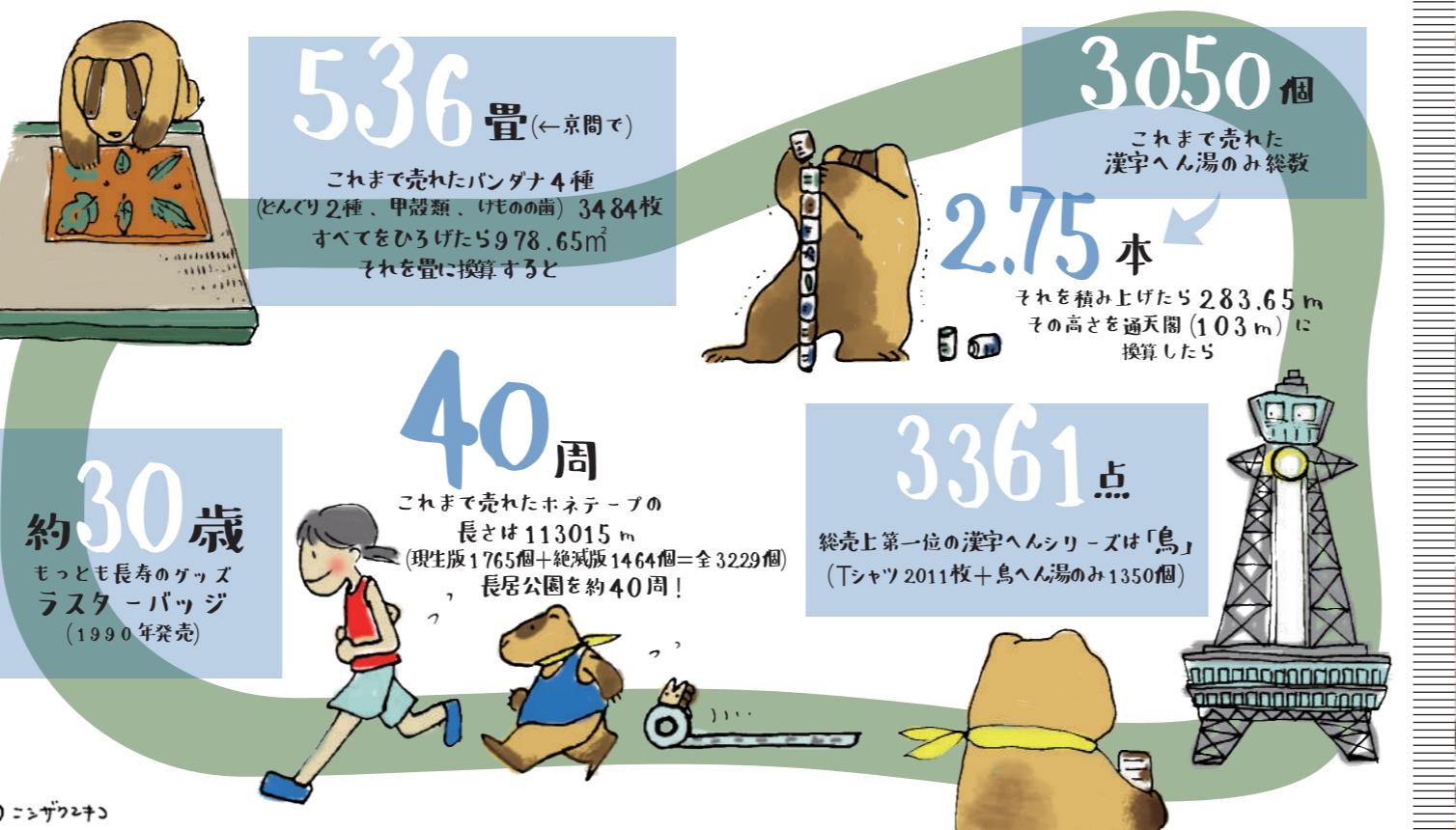
twitter : @omnh\_museumshop

大阪市立自然史博物館

[www.mus-nh.city.osaka.jp](http://www.mus-nh.city.osaka.jp)



## 数字でみるミュージアムグッズ



## 大阪自然史センターの活動を応援してください

自然を見つめ、自然から学び、自然を楽しく伝え、  
自然を大切に思う気持ちを育む  
私たち大阪自然史センターの活動を応援してください

### 郵便振替で寄付する

口座番号 00980-1-317961  
加入者名 特定非営利活動法人 大阪自然史センター



クレジットカードでのご寄付はこち  
a syncable.biz/associate/hakurabo/

ご寄付に関する詳細は下記のWEBサイトをご覗ください。  
[www.omnh.net/npo/support/donation.html](http://www.omnh.net/npo/support/donation.html)

大阪自然史センターは、2014年3月31日に大阪市から認定NPO法人の認定を受けました。認定NPO法人である大阪自然史センターへのご寄付は、税制優遇の対象となります。

### 企業や団体の方へ

大阪自然史センターはさまざまな企業や団体と連携して活動を進めています。  
コラボレート企画やデザインのご依頼、ご寄付・CSR活動など、お気軽に  
お問合せください。



はくラボ



表紙の  
撮影風景

## 編集後記

表紙のラスター・バッジの数々は、本当にほんの一部。博物館を訪れた子どもたちが、自分のお小遣いで手にすることができるミュージアムグッズとして誕生したバッジの歴史は計り知れません。掲載したいエピソードがたくさんみつかりましたが、これはきっとまた、別号でご紹介させてもらいます(川上)

グッズの企画制作から販売までを担当して早8年。載せたいものがありすぎて、選ぶのに苦労しました…(池内)

学会やイベントの行商担当です。語りだしたら止まらない珠玉のうちのグッズたち、どこかでぜひ手に取って!(西澤)



認定特定非営利活動法人 大阪自然史センター

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23 大阪市立自然史博物館内

電話 06-6697-6262 FAX 06-6697-6306 [www.omnh.net/npo](http://www.omnh.net/npo)

[www.facebook.com/naturalhistory.center](https://www.facebook.com/naturalhistory.center)

## はくラボ通信 Vol.3

認定特定非営利活動法人 大阪自然史センター  
2019年4月発行

編集スタッフ：川上和歌子、池内美絵、西澤真樹子  
デザイン：橋高加奈子

このパンフレットは環境に配慮したベジタブルオイルインクを使用しています。

## はくラボ 通信 Vol.3

～何やってるの? 活動しようかい～



こんなにつくっていました  
大阪市立自然史博物館とともに歩んだ  
ミュージアムグッズの30年

廊下の立ち話から生まれる商品企画。自然史博物館友の会会報誌「Nature Study」のバックナンバーをめくってみて  
も、今とかわらぬ商品企画愛に満ちた当時の記事をみつけることができます。「お揃いのグッズを身につけて自然観察  
に出かける」そんな目的から企画をスタートさせたミュージアムグッズはいつしか、自然とのつながりを広げ、深め  
る手助けとなり、よりよい博物館体験を持ちかえるために、なくてはならない存在になりました。博物館と博物館  
をとりまく人たちを夢中にさせてきたミュージアムグッズの歴史。そのレポートをながめています。(川上和歌子)

「はくラボ」は、博物館との  
さまざまなコラボレーションで  
自然と市民をつなぐNPO法人であります  
私たち大阪自然史センターの愛称です

# ずらりとならべてみました ミュージアムグッズ

ほんの一部

## グッズ黎明期

1995年に初めてパンダナをオリジナルグッズ化。今はすべて完売してしまっていますが、当時の現物をまだ大手で使っている学芸員「さんから見せていただくと、雰囲気も良くてとても素敵でした。

「懐かしデザインのパンダナ復活したいー（スタッフK）」  
大人の嗜み的なタイプやバッジ。あらたま席で着用できるアイテムもまた、古き良き時代を感じさせます。2008年地震展で制作した「なまちゃん根付ストラップ」はこの世に50個しか存在していない貴重な根付。「根付本体のサイズを大きくしたので、紐が通らないのでは…！」と焦ったのも納品時の懐かしい思い出（スタッフK）



## 漢字へんシリーズ

現在のオリジナルグッズ企画の原点、大ロングセラーの漢字へんシリーズ。虫へんの漢字はもともと、NatureStudyに掲載されていた「中国語講座」シリーズのひとつで、1996年



## てぬぐい

4月号に表紙で使われたものが元になっています。海外のナチュリストへのお土産にも喜ばれてきました。2007年には「鳥へんTシャツ」、2016年には「木へんTシャツ」が加わり、漢字へん湯のみシリーズも好評を得ています。次はようやく魚へん？！



## 歴代Tシャツ オールスター 1994年～2018年

## パンダナ・ハンカチ



## バッグ

当初はTシャツ企画オンラインだった大化石展用のアンモナイトグッズ。「行事で販売したい」という学芸員Nさんの要望に応え、早めに制作がスタートしたおかげで、違うアイテム展開ができる時間的余裕が生まれました。私が最初にデザインしたグッズです。（スタッフI）」初代アンモナイトバッグはオレンジとグレーの2色展開（現在は完売）。

アンモナイトバッグをきっかけにバッグアイテムの展開が本格的にスタート。



## ステーショナリーや小物など



※友の会時代の情報は主に「NatureStudy」パンクナンバーを参照しました。

## オリジナルグッズヒストリー～2018

1990年 1月	スター・バッジ・タイバー・タイピン・バッジ
3月	ステゴサウルスレフォンカード
1992年 2月	フィールドノート
1994年 7月	友の会オリジナルTシャツ（ザウルス・デバラドン）
1995年 8月	パンダナ（テントウムシ、地層と生物、甲殻類？、ドングリ？）
2000年 10月	「干潟の自然」絵はがきセット
2003年 3月	大阪自然史フェスティバル2003
2004年 3月	大阪自然史フェスティバル2004
2006年 3月	大阪自然史フェスティバル2006
7月 第35回特別展「大和川の自然 -きたない川?にもこんないるで-」	どんこちゃんTシャツ
7月	セミ下敷き
2007年 4月	大阪バードフェスティバル2007
7月 第36回特別展「世界一のセミ展」	てぬぐい・セミカチ（アラゼミ、抜け殻）・タオルハンカチ（アナグマ）
11月	鳥へんTシャツ
2008年 10月 第37回特別展「地震展 2008 -今わかっていること知ってほしいこと-」	なまちゃんTシャツ・なまちゃん根付ストラップ
11月 かんさい自然フェスタ 2008	フェスTシャツ 2008・フェスTシャツ長袖 2008・フェスパーク 2008・ストラップボールペン
2009年 7月 第39回特別展	「それいけ！ホネホネたんけん隊」
9月 第40回特別展「きのこのヒミツ -きのこで世界はわってる-」	ホネホネTシャツ・哺乳類外部計測・頭骨計測てぬぐいニホンジカ
11月 大阪自然史フェスティバル 2009	きのこのひみつTシャツ・きのこのひみつクリアファイル
2010年 7月 第41回特別展「みんなでつくる淀川大図鑑」	淀川植物図鑑Tシャツ・淀川水系・藻屑蟹双六てぬぐい
10月 大阪バードフェスティバル 2010	フェスTシャツ 2010・鳥クリアファイル
2011年 7月 第42回特別展「来て！見て！感激！大化石展」	アンモナイトTシャツ・アンモナイトトートバッグ
8月	セミシシュ・テントウムシ刺繍ワッペン
10月	どんぐりパンダ（オレンジ）
10月 ホネホネサミット 2011	ホネホネTシャツ -Bones turn The world-
2012年 7月 第43回特別展「のぞいてみよう ハチの世界」	ハニカムTシャツ・アシナガバチトートバッグ・アシナガバチシルダーバッグ・ハチクリアファイル（3種）
11月 大阪自然史フェスティバル 2012	生物多様性Tシャツ 2012
2013年 7月 第44回特別展「いきものいっぱい 大阪湾 -フナシからクジラまで-」	キタフナムシTシャツ・カモノエTシャツ・カモノエトートバッグ・大漁旗風機の帯分布でぬぐい・甲殻類パンダナ・大阪湾の海辺の生きもの水筒
11月	東北遠征団オリジナルバッヂ【支援商品】
2014年 7月 第45回特別展「ネコと見つかる都市の自然 -家のから公園さんぽ-」	カラスTシャツ・ナガスク&マッコマフラー・コウガビルマフラー
7月 マッコウクジラ全身骨格標本「マッコ」展示	大阪市立自然史博物館オリジナルボールペン（マッコ）
10月 ホネホネサミット 2014	ニホンジカ・全身骨格Tシャツ
11月 大阪自然史フェスティバル 2014	虫へんTシャツ2
2015年 2月	アンモナイトデニムトートバッグ
7月	どんぐりパンダ（グリーン）
7月 第46回特別展「たまごたね -いのちのはじまりと不思議-」	たまごTシャツ・たまごトート・たまごメモ付箋・ひつぎむし付箋・たまご携帯クリーナー・どんぐりスタンプ（クヌギ、コナラ、スダジイ）・たまごたねボストカード（3種）
8月	ホネテープ現生
11月 大阪バードフェスティバル 2015	鳥へん湯のみ
2016年 1月	アンモナイトデニムショルダーバッグ・ホネテープ絶滅版
6月	けものの歯パンダナ・頭骨スタンプ（イノシシ、ヒグマ）
7月 第47回特別展「氷河時代 -化石でたどる日本の気候変動-」	マチカネワニTシャツ・ナウマンゾウ・アルミマウンテンボトル
8月	たまごショルダーバッグ
11月 大阪自然史フェスティバル 2016	木へんTシャツ・木へん湯のみ
2017年 2月 ホネホネサミット 2017	ホネホネトートバッグ -Bones turn The world- 2017・ホネバッックパック -Bones turn The world-
7月 第48回特別展「瀬戸内海の自然を楽しむ -生き物にぎわいとその恵み-」	タコとたこづぼTシャツ（2種）・瀬戸内海の自然クリアファイル・ナガスク&マッコフェイスタオル・カブガニフェイスタオル・アリゴククリアファイル
9月	キノコのひみつTシャツ（ロールアップストリーフ）
10月	たねTシャツ（ドルマスリーフ）・たねマキシワンピース・苔・こけ・コケでぬぐい
2018年 2月	たねショルダーバッグ
5月	復活！カモノエTシャツ
6月	たねTシャツ（マイナーチェンジ）
7月 第49回特別展「きのこ！キノコ！木の子！ -きのこから眺める自然と暮らし-」	キノコTシャツ・キノコショルダーバッグ・キノコハンカチ・キノコグラス